やる気発生装置

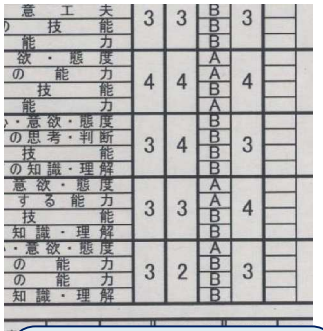
教室通信 Vol.１４７７
Ｒ１．７．１９
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

通知表の評定を上げる、戦略と戦術

多くの学校で１学期が終了する日です。いよいよ夏休み本番に突入というところで塾としては本来テンションを上げていかねばならないんですが、京都アニメーション火災のニュースが入るたびにどうしても気が重くなります。今現在のニュース記事では、すでに３３人の死亡者が出ているそうです。京都でこれだけの尊い人命が失われて、それも自然災害ではないだけに、なんとも言葉がありません。ここまで書くのも何度も止まりながら書いている状況です。とにかく、こんなことが二度と繰り返されないようにと願うしかありません。

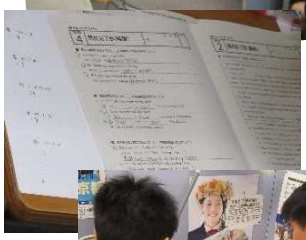
成績表を持ってきてくれる人が続いています。こちらの方は、みんなよく頑張っていて、僕の予想を大きく上回る数字が出ています。中間・期末が何点だったら成績はこれくらい、というデータを年々集めているんですが、実は集めれば集めるほどそのボーダーがぼやけていきます。２と３の境界、３と４の境界がどこにあるのかかなり難しいんです。また、音楽や美術などでは授業の進め方や評価基準の差が大きいのだと思いますが、学年が変わって先生が代わると成績が激変した、というケースが多々あります。僕の中学時代について言えば、音楽はときどき上がったり下がったりしましたが、美術はずっと安定の「３」でした。実技が壊滅的だったので、テストの時には必死で暗記していました。まあそれでもよく３にしてもらえたもんだと思っております。

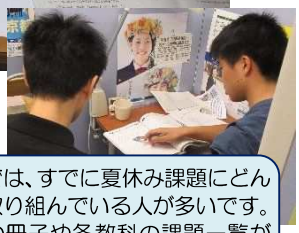
そんなわけで、学校の成績は実力の指標としてアテにならない面もじつはあります。それでも、高校入試の選択肢をどこまで広げられるか、大学入試では推薦系入試をどれくらい使えるかといった点で、その数値が大きな意味を持ちます。当塾でも、とくに中３・２学期での通知表アップが大きくものを言って１ランク上の志望校合格を勝ち取った人がけっこういるんです。では、この一見とっつきにくい「通知表の評定」をどうやって上げていくのか。もちろん、定期テストの点数を着実に取っていくことが基本線になるんですが、戦略・戦術があると効果的です。もう少しで上がる可能性のある教科、下がるのを阻止しないといけない教科に重点的に力を入れるのが得策です。そういうことを一人ひとり分析して話をしていきます。ご相談、お待ちしています。



意欲・態度	3	3	B	3
技能			B	
知識・理解			B	
意欲・態度	4	4	A	4
思考・判断・表現			B	
技能			A	
知識・理解			B	
意欲・態度	3	4	B	3
思考・判断・表現			B	
技能			B	
知識・理解			B	
意欲・態度	3	3	A	4
思考・判断・表現			B	
技能			B	
知識・理解			B	
意欲・態度	3	2	B	3
思考・判断・表現			B	
技能			B	
知識・理解			B	

特に実技教科では、先生や単元が変わると通知表の数値が大きく変動することもよくあります。（画像はサンプルで、特定の生徒のものではありません）





教室では、すでに夏休み課題にどんどん取り組んでいる人が多いです。課題の冊子や各教科の課題一覧があれば持ってきてください。

当面の教室予定

7/19（金）
１６：００～２２：００
7/20（土）～7/21（日）
１８：００～２２：００
7/22（月）～7/26（金）
１６：００～２２：００
※変更する場合があります。